

みはら情景 わがしの思い出

沼田川



昭和35年頃、沼田川の周辺には民家が少なく、田んぼや畑が広がっている



自然の恵みを感じさせながら、流れ続ける (新高山城跡から見た沼田川)

おおらかな心を育む川



春田 正彦さん (小泉町)

「外で遊んでいる子どもたちを見ると、昔と変わらないなあと思います」

「川藻の間にはたくさん魚が潜んでいて、両手で握りすると、簡単につかまえることができました。水がとても澄んでいて、フナ・コイ・ハヤ・ナマズなど、いろいろな魚がいましたよ」と、幼い頃、沼田川で遊んだ思い出を語ってくれるのは、小泉町に住む春田正彦さん。

川で遊んでいると、田植えの後で泥だらけになった牛や馬を洗っている光景が、よく見られたといいます。農家には、必ず牛がいて、貴重な労働力として大切に扱われていました。

春田さんは、小泉町から本郷町へ行くために、小原橋を利用していました。当時は、2枚の板を並べた程度の板橋で、大雨が降ったときは、よく流されたといいます。「いつものように渡ろうとすると、橋がなく、遠回りして学校に遅れたこともよくありました」と笑う春田さん。現在は、鉄筋で幅の広い小原大橋を、多くの車や歩行者が利用しています。

「夏の夕方、川土手に咲くオオマツヨイグサは、思い出に残る自然の風景です」と春田さんはいいます。暗がりの中で咲く黄色い花が、神秘的な光景を作っていました。

昔と変わらず流れ続ける沼田川を彩る植物。四季折々の草花が、散歩する人の目をなごませていきます。

特定計量器の定期検査

平成18年度特定計量器(ばかり)の定期検査を行います。商店、工場、小口貨物取扱、学校、病院、薬局および野菜・果物出荷などで、取引引きまたは証明にはかりを使用する人は、必ず検査を受けてください。

はかりの定期検査は、1年おきに行います。6月の検査 左の表のとおり

と き	と ころ
26日 (月)	11:00~12:00 三原農協幸崎支店
	13:30~15:00 三原農協三原西支店
27日 (火)	11:00~12:00 三原農協鷺浦営農生活センター
	13:00~15:30 三原農協鷺浦出張所
28日 (水)	9:30~12:00 小佐木棧橋待合所

問い合わせ先 商工振興課
0848(☎)48(☎)6072 ☎
0848(☎)4103

税の納期

市県民税普通徴収(第1期)
納期限 6月30日(金)
納税通知書は今月初旬に発送します。
税金は納期限までに納めましょう。

あとがき

今月の注目は何と云っても、4年に一度開かれるサッカーのワールドカップ！前回大会は、広報担当1年目で、原稿がなかなか書けない！写真は上手に撮れない！で、サッカーの試合よりも、自分の仕事にハラハラドキドキの日々だったことを思い出します。あれから4年。締め切りが、取材先で「見たよ」期待しとるで」という声をもらうと、うれしさと感謝の気持ちで湧いてくる。この気持ちを忘れずに、市民に元気を与えられる広報を作りたい！毎年のことながら、梅雨の時期になりますね。何事も準備は大切です。雨対策の準備もお忘れなく！(ひろこ)



● 三原市の人口 ●
(4月30日現在)

世帯数	43,122世帯(+409)
人口	105,305人(-428)
男	50,463人(-157)
女	54,842人(-271)

()内は前年同月との比較

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。